



『QCサークル』誌 2025年9月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

秋田エブソン㈱ 代表取締役社長 平田 潤 さん

じつは2023年10月に社長となってから、「QCサークル活動の基本に立ち返り、活動を活発化させてほしい」とお願いしました。そして私の意を汲んで、この活動の推進委員会のみなさんの努力と工夫があり、徐々に活性化していると思います。その工夫として、たとえば全サークルの活動の進捗状況や活動内容などを社内のWeb上で共有化させ、見える化したという取組みがあります。ほかのサークルの状況に刺激を受けたり、具体的な活動内容から学んだりできるようになったことで、プラスの影響が生まれているはずです。

★ザ・ショット 写真で綴るQCサークル紀行

p.5～

㈱麻生 飯塚病院

飯塚病院は、2022年度に国内外の医療機関として初めてデミング賞を受賞し、今も唯一の存在です。福岡県中部の筑豊地域で、100年余りの歴史を持ち、「日本一のまごころ病院」をかかげ、当院では改善の文化が築きあげられています。その体制づくりや仕組み、工夫について、活動推進のキーパーソン、実際に活動を行い、成果を上げているサークル関係者の方々にお聞きしました。初心者でも改善活動に取り組みする方法など工夫に富んでいます。

★特集：二極化の壁を乗り越えた知恵と工夫

p.9～（サークル、製造、医療・福祉、改善）

二極化は、相互の関係性（意思疎通・情報共有化・相互理解・協力・協調など）に影響を与え、合意形成が得られない事態になりかねません。

QCサークル活動においても、年齢・経験・知識・職種・雇用形態・勤務体制などの面で二極化があり、相互のコミュニケーションがうまくとれず、活動の目的やベクトルが共有できないという困りごとにつながる場合があります。

本特集では、サークルの二極化と困りごとに着目し、効果的な活動の仕組みやしかけ、的を射たアイデアやアドバイスなどによって、相互間の壁を乗り越えた知恵と工夫の事例を、サークル目線の生の声として紹介します。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.23～（管理者／事務局、運営／推進）

第9回 管理者として、以下にサークルのやる気高めるか

管理者の言動で活動の熱意が一気に覚めてしまったり、受動的に活動を進める場合と能動的に活動を進める場合で、サークルのパフォーマンスに大きな違いが生じます。9月号では、人がやる気になるとはどういうことか、やる気的重要性とその相乗効果、そして、やる気を引き出すために管理者がすべき工夫について、具体的な事例をもとにみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

★サークルQ6A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.30～

カルテ 194

今回は、ISOの認証取得のための第三者審査やお客様による二者監査の対応についてお話しします。指摘を受ける都度対応していますが、社長診断で「外部の審査・監査のための活動になっているのでは」という指摘がありました。自分たちでも場当たりの活動になっていることは感じていて、この状態を抜け出すための方法を探しています。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例3件を紹介します。

体験事例：p.32～

1.（サークル、製造、改善）

ダイハツ九州㈱ 「neo開発サークル」

「車両開発段階 異音不具合の低減 ～リアシートベルトリトラクタの異音を無くせ～」

2.（サークル、製造、改善）

㈱デンソー岩手 「なんくるないさーサークル」

「モールド成型搬送不良の低減」

3.（サークル、製造、改善）

イビデン㈱ 青柳事業場 「雑草魂サークル」

「電気銅めっき工程におけるハンガー並び替え作業工数の低減」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.48～（サークル，運営／推進）

第9回 活動に関する情報を共有する工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル，活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに，運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は，メンバー丸となって活動を進めるために必要な，情報を共有することの工夫を紹介しています。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.50～（医療・福祉）

宮城県船形の郷生活支援第二部かまくら園 ルック・ミーサークル

サークルに改善の背景や内容を，推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は，利用者一人ひとりの特性を理解したうえで各利用者に適した支援方法を工夫。福祉の現場に限らず，多くの職場で参考にできるアプローチについて紹介します。支援の統一化および職員間の連携強化，チーム全体の成長につながっています。

★QC検定道場

P.52～（サークル，一般者(標準)）

第9回 品質経営の要素

今月号は，2019年9月に実施された第28回と2023年3月に実施された第35回品質管理検定（QC検定）の3級問題を取り上げ，品質経営の要素を解説しています。また，西精工㈱における品質教育と人材育成の取組みを紹介し，QC検定に向けての勉強の仕組みが具体例でわかりやすくなっていますので，ぜひ学習の参考にしてください。

★連載講座：「QC的ものの見方・考え方」の基礎に学ぶ

p.56～（サークル，一般者(標準)）

第3回 「手段に関する考え方-1」について

この連載では，7月号から12月号まで6回にわたり，「QC的ものの見方・考え方」というQCの基礎的内容について，読者のみなさんとともに勉強していきます。

第3回では，「プロセス重視」，「標準化」，「源流管理」という考え方について，身近な事例を挙げながら解説していきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として，ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail： editoqcc@juse.or.jp

